(様式1) 新規評価総括表

事業種類	道路付帯施設の整備	事業名	雪寒対策道路

建設部 道路管理課

番 号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H27 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見		申請	採択	備考
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価			現地調査			
1	松本市	(国)158号 雲間(くもま)の滝(たき)～鵬雲崎(ほううんざき)	防雪事業 N=5箇所	115,000	20,000	H31	A	B	C	C	C	B	岐阜県と長野県を結ぶ重要な路線であり、雪崩による被害も発生している。1次緊急輸送路にも指定されている道路であるため、整備が必要である。	H26.2に雪崩が発生し通行止めとなり、観光、物流、地域生活に多大な影響を与えたことから、必要性が高い。	○	○	○	
2	小川村	(主)信濃信州新線(しなのしんしゅうしん) 穴尾(あなお)	堆雪帯設置工 L=350m	400,000	20,000	H30	B	B	B	B	A	B	生活路線として重要であり、ボトルネック区間であるため、冬季の幅員確保のために整備が必要である。	幅員が狭く、さらに降雪により幅員が減少し通行に支障をきたしていることから、必要性は認められる。	○	○	○	
3	山ノ内町	(国)292号(ごう) 十二沢(じゅうにさわ)	堆雪帯設置工 L=640m	300,000	0	H30	A	A	B	B	B	A	中野地域と志賀高原を結ぶ重要な路線であり、冬季の事故や大型車の通行支障もある。1次緊急輸送路にも指定されている道路であるため、整備が必要である。	必要性が高く、重要性も認められる。		○	○	
合 計			3箇所	815,000	40,000													